

地域密着型サービス自己評価票

- ・ 指定小規模多機能型居宅介護
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- ・ 指定認知症対応型共同生活介護
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

記入年月日	平成 19 年 9 月 2 日
事業所名	しんさかえケアセンターそよ風
ユニット名	ひだまり
事業所番号	2372001384
記入者名	職名 管理者 氏名 高橋みはる
連絡先電話番号	(0532) 34 - 7351

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>住まいとしてのGHを現実にするための独自の基本理念がある。</p>	<p>印 (取組んでい きたい項目)</p> <p>GH独自の理念がある。</p>
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>事務所や入り口に掲示しGH会議、ミーティングをやっている。</p>	<p>印 (取組んでい きたい項目)</p> <p>理念を唱和している。</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>入り口に掲示し入居時には十分に説明し、定期的に運営推進委員会を開催している。</p>	
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>散歩、買い物時必ず挨拶をする。</p>	<p>印 (取組んでい きたい項目)</p> <p>世間話をして気軽に見学できる雰囲気作りを心掛ける。</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>運営推進委員会、夏祭りを開催している。</p>	<p>印 (取組んでい きたい項目)</p> <p>老人会、地域の方々に参加して頂いている。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	DSの休日に老人会の行事煮に使って頂いている。	印 (取組んでいき たい項目)	老人会に参加している。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	GHの意義、役割を認識し職員に分かり易く話し、毎月の会議で改善している。	印 (取組んでいき たい項目)	以前の評価を元に素早く改善する。HG
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	GH会議で報告し話し合いをすすめている。、家族面談の際に報告、話し合いしている。	印 (取組んでいき たい項目)	運営推進委員会の内容の報告を家族に郵送する。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	定期的に生活相談員の訪問でサービスの向上に取り組んでいる。	印 (取組んでいき たい項目)	回数を増やしたい。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	すでに成人後見人制度を利用している方がいるので職員には常に学ぶ機会を作っている。	印 (取組んでいき たい項目)	必要な人には活用している。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	豊橋市高齢者虐待防止対応マニュアルをいつも読める場所におき、勉強会えおやっている。	印 (取組んでいき たい項目)	回数を増やしたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>見学体験などを実施し契約書にそって説明させて頂いている。</p>	<p>印 (取組んでい きたい項目)</p> <p>もっと、分かり易く説明ができるようする。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情内容記録票に随時記入しカーファレンス、会議家族面談などで話し合いの場をもっている。</p>	<p>印 (取組んでい きたい項目)</p> <p>運営推進委員会などで報告する。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>介護記録、おこずかい帳を記入し面会、家族面談で随時報告している。</p>	<p>印 (取組んでい きたい項目)</p> <p>分かり易く行う。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族が話しやすい雰囲気を作り家族面談を行っている。</p>	<p>印 (取組んでい きたい項目)</p> <p>随時話し合いに応じている。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>全体会議、GH会議を行って話し合いの場を設けている。</p>	<p>印 (取組んでい きたい項目)</p> <p>職員に、運営に関する事も意識させ会議で意見を言えるようのする。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>月予定にあわせたシフトを作り、行事予定など速やかに行っている。</p>	<p>印 (取組んでい きたい項目)</p> <p>職員確保のために求人広告を出している。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者の配慮を一番に移動、離職をその職員と話し合いをしてすすめている。	印 (取組んでいき たい項目)	離職が少ない現場にしたい。
5.人材の育成と支援			
19 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修へのサポートし参加させている。参考になる資料を配り勉強会で助言している。	印 (取組んでいき たい項目)	月に2回の勉強会をしている。
20 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の同業者とグループを作り話し合っている。	印 (取組んでいき たい項目)	幅をひろげていきたい。
21 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	希望休を取り勤務調整し、仕事、職場の悩みなど相談に応じている。	印 (取組んでいき たい項目)	時々食事会など開きたい。
22 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	常にコミュニケーションを計り個々の立場になって話を聞き働きやすくしている。	印 (取組んでいき たい項目)	職員と距離をあけ無い・

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>会話がしやすいよう心掛け、出来るだけ話す機会を多く持ち、各職員が得た]情報をノートにまとめて共有している。</p>	<p>印 (取組んでい きたい項目)</p> <p>共有している情報を生かすための工夫をする。</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入所前より話す機会を管理者が持ち、家族の希望、生活歴、性格等を聞き、各職員に伝えることにより信頼関係を築く努力をしている。</p>	<p>印 (取組んでい きたい項目)</p> <p>入所前に必ずご本人、家族と接見している。</p>
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>広い視点から必要な支援を検討して対応に努めている。</p>	<p>印 (取組んでい きたい項目)</p> <p>アセスメントを行い求めている事を把握し、サービスに生かしている。</p>
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>体験入所などをしていただき、ご本人や家族の不安を取り除いている。</p>	<p>印 (取組んでい きたい項目)</p> <p>体験は、一週間可能です。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>尊敬の念を持ち、生活の場では役割を負っていたくことを感謝する気持ちを伝えている。</p>	<p>印 (取組んでい きたい項目)</p> <p>他の時間も会話をするように努めています。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族が面会に来られた時は利用者様と家族のパイプとなり話やすいようにし楽しい時を過ごして頂き、現状を密に伝えている。	印 (取組んでい きたい項目)	日々の観察をする。
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	利用者様、家族の想いの中で相手を思いやる気持ちや良い部分を伝えるようにしている。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族、友人、お寺などの関係が継続出来るように訪問時には大いに歓迎し再訪して頂いている。	印 (取組んでい きたい項目)	お墓参りなどをして頂いている。
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	仲の良い人同志の関係を大切にし、一人で過ごす傾向の方には職員が話しかけ、他の利用者様の中に入れていける様にしている。	印 (取組んでい きたい項目)	その時に応じて席など変えている。
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退居され入院中の方のお見舞いを行っている。	印 (取組んでい きたい項目)	必要な場合は、関係を大切にしてい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>個人を尊重し、自尊心を傷つけないようにして、ゆっくり話をきくなどし察する努力をしている。困難な場合は本人の意向を察して対応している。</p>	<p>印 (取組んでいきたい項目)</p> <p>本人本位より業務の流れを優先しないようにしている。</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>センター方式の記入を家族にお願いし、ご本人にもお聞きしこれまでの暮らしの把握に努めている。</p>	<p>印 (取組んでいきたい項目)</p> <p>センター方式をもっと充実させていきたい。</p>
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>常に観察をすることで把握するように努めており、日々のケアに生かしている。</p>	<p>印 (取組んでいきたい項目)</p> <p>状態の変化に合わせてGH会議や申し送りの場で報告している。</p>
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>家族面談、カンファレンスを行いより良く暮らして頂けるよう話し合いをしている。</p>	<p>印 (取組んでいきたい項目)</p> <p>関係者が一同に会しての話し合いの場を定期的に取りたい。</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>個々の状態、変化に応じて見直しし、新たに作成している。</p>	<p>印 (取組んでいきたい項目)</p> <p>常に観察している。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	月一回のモニタリングを行うことにより変化に則した計画を作成している。	印 (取組んでいき たい項目)	結果、反省を次につなげるようにしている。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	デイサービスを利用されていた利用者様を時々お連れしお知り合いの方と会い話をする機会を作っている。お墓参りの希望があり家族とお寺で待ち合せをしお連れしている。	印 (取組んでいき たい項目)	このような機会を増やしたい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	レクボランティアの方に協力をさせていただいている。	印 (取組んでいき たい項目)	もっと、活用できるように検討していきたい。
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	現在の所は活用していない。	印 (取組んでいき たい項目)	活用、利用するようにしていく。
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	していない。	印 (取組んでいき たい項目)	協働していきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月一回の往診を受けている。	印 (取組んでい きたい項目)	待ち時間が長い場合もあり配慮して頂けるように検討していきたい。
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	利用者様全員ではないが専門医の相談員と連携して支援している。	印 (取組んでい きたい項目)	全員の方にしていきたい。
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	変化のあった場合はデイの看護職員に相談している。	印 (取組んでい きたい項目)	地域などの看護職と連携を取ることを検討したい。
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院先にもよるが、病院関係者とは連携し密に相談などしている。	印 (取組んでい きたい項目)	雇い付け医との良好な関係に努めている。
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族や医師との話し合い、連携しているが職員の能力や環境も考えて判断している。	印 (取組んでい きたい項目)	早い段階の見極めが難しい。
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	度々検討会を開いたり、医師、家族と連絡をとり連携し、より良いケアが出来るよう、安心して終末期を過ごせるようにしている。	印 (取組んでい きたい項目)	今後、終末期については施設としてどう取り組んでいくか検討している。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	職員で話し合い、家族と管理者の間で十分に話し合っ方向性を決めご本人が一番良い方法を検討している。	印 (取組んでいき たい項目)	要請があれば経過、記録等の提供をする。
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50 プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員間で気付いた事はお互いに指摘するようにし、個人情報が出ないよう確保を徹底している。	印 (取組んでいき たい項目)	利用者様の尊厳を守る事を常に意識し業務している。
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	自分の思いや希望を表す事は難しいがゆっくり聞くことで良い関係を作れている。	印 (取組んでいき たい項目)	時間に余裕がほしい。
52 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一応のスケジュールはあるがあまりそれに縛られる事なく暮らして頂いている。	印 (取組んでいき たい項目)	買い物なども利用者様の行きたい店に行きたい。
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	季節に合った衣類や上下のバランスのとれた衣類を選ぶなど一緒に話し合いながら行ってうる。理容、美容は利用者様自身望まれる店が無い場合月に一度定期的に来て利用して頂いている。	印 (取組んでいき たい項目)	理容、美容は店に出かけて頂きたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの状態に合わせ、負担にならない程度に手伝っていただいている。主に、準備や片付けをして頂いている。	印 (取組んでい きたい項目)	負担にならない事を気にしすぎて、積極性を損失しないように心掛けする。
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お酒、飲み物、おやつは対応できている。しかし、家族の希望や要望も聞き入れている。	印 (取組んでい きたい項目)	たばこは現在、検討中である。
56	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄パターンをつかんで失禁、失敗が無い様になっている。定期的にトイレ誘導することもしている。	印 (取組んでい きたい項目)	一人ひとりもっと考えて支援していく。
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	15:30~17:00の間に健康状態にもよるが問題がなければ毎日入浴して頂いている。	印 (取組んでい きたい項目)	入浴剤をかえて使っている。
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	利用者様の寝たいと言う気持ちをたいせつにしている。昼間の生活リズムを整え、夜間は定期的に巡回し安眠に心掛けている。	印 (取組んでい きたい項目)	布団干し、シーツ交換をまめにしている。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	出来る事を見つけ趣味を増やしたり、以前にしていた趣味活動をして頂いている。	印 (取組んでい きたい項目)	出来る事を見つけられていない利用者様についても継続して見つけていく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	訪問販売や個人の買い物は自分で選んで頂き金額を確認して支払、購入して頂いている。	印 (取組んでい きたい項目)	日常は金銭管理は職員がしている。
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日は無理だが希望に応じている。食材の買い物はその日の状況であるが必ず利用者様と行っている。	印 (取組んでい きたい項目)	出掛けられる機会を増やしたい。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	個別に出掛ける試みを始めた。きめ細かな対応がで来る為良い成果をあげている。	印 (取組んでい きたい項目)	少数だが家族も参加して頂き喜ばれて頂いている。
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者様の申し出があればいつでも利用できるようにしている。	印 (取組んでい きたい項目)	家族の了承をとっている。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	利用者様が伝えにくく話が出来ないような時はさりげなく職員がおつたえしたり、一緒にお茶を飲んで頂いたりし再訪問が控えられる事のないようにしている。	印 (取組んでい きたい項目)	いつも笑顔で挨拶をしている。
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束については職員一人ひとりが正しく認識している。しかし、身体の危険がある時は家族に説明と同意書と取っている。	印 (取組んでい きたい項目)	会議などでいつも話し合っていく。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	フロー-居室が3Fのため出入口には鍵はかけてあるがベランダは自由に出入りが出来るよう開放されている。	印 (取組んでいき たい項目)	以前はベランダの自由に出入り出来なかったが家族の理解をもとめて開放していきたい。
67 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	自尊心を傷つけないようさりげなく見守りし夜間は物音に細心の注意を払っている。	印 (取組んでいき たい項目)	声かけにも突然後方や離れた場所よりしないようにしている。
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	保管場所が決めてあり必要な時に使えるようにしている。	印 (取組んでいき たい項目)	危険な物の使用時は必ず見守りをしている。
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故報告書、ヒヤリハットの作成し、回覧と話し合いで再発の防止に努めている。	印 (取組んでいき たい項目)	一人ひとりの能力や状態を把握する。
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時のマニュアルは事務所に常時提示してあり、管理者、リーダーに連絡しているが、定期的に訓練は行われていない。	印 (取組んでいき たい項目)	必ず、定期的に訓練を行いたい。
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練定期的に行っている。	印 (取組んでいき たい項目)	地域の人々の協力を得られるよう働きかけをしたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	家族面談をし現在の状況を伝え、利用者様の状態を知っていただく様にリスクについても家族の希望も聞き説明している。	印 (取組んでい きたい項目)	家族面談を応じてやり話し合っていきたい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	体調変化は、常に観察を怠らず他の職員へ伝え、連絡ノートを活用している。すぐに家族に連絡するなどして対応している。	印 (取組んでい きたい項目)	介護記録は分かり易く変化をかいている。
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋を職員がすぐに確認できる場所に保管し間違いの無い様にセットする。症状に変化があった時はすぐに医師に報告している。	印 (取組んでい きたい項目)	会議、勉強会で確認する。
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	最終排便を毎日記録し便秘に効く飲み物、果物の摂取を心掛け運動を勧めている。	印 (取組んでい きたい項目)	排便がない時は医師に相談し指示を仰いでいる。
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、能力に応じて口腔ケアし夜間は入れ歯洗浄剤を使用している。	印 (取組んでい きたい項目)	定期的に歯ブラシ、コップをミルトンにて消毒している。
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士による献立にてバランス配慮し状態や気候に応じて水分摂取して頂き、量の記録をしている。	印 (取組んでい きたい項目)	好き嫌いもあり、食べやすいように工夫している。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	対応マニュアルに従い予防,防止している。	印 (取組んでい きたい項目)	感染症の知識を深めるため職員に情報を提供している。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食品は新鮮な物を使用し冷蔵庫に入れ、手洗い消毒の義務付けし、食器と調理器具は乾燥機の使用、消毒をしている。	印 (取組んでい きたい項目)	冷蔵庫の掃除を定期的に行う。
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りに草花を植えている。インターホーンでの素早い対応をしている。	印 (取組んでい きたい項目)	エレベーターホールは施設っぽくならないように飾り付けしている。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	明るい環境に出来ているが殺風景に見える感じがあるので花を飾るなどし、生活用品も家庭のように設置する。	印 (取組んでい きたい項目)	なるべく早くに設置したい。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者様が集まるリビングでは気の合う人、合わない人など考慮し、自由に座る場合も考慮し誘導している。	印 (取組んでい きたい項目)	出来るだけ長い時間過ごせる雰囲気を作る。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 せるような工夫をしている	利用者様の生活リズムを大切にし馴染みの物など 盛ってきて頂き、今までの暮らしに近い生活環境 を勤めている。	印 (取組んでい きたい項目)	自宅と同じ目線で飾り付けをしている。
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	嫌な臭気は無い。温度調節は常に気を配り換気扇 や空気清浄機を使用している。	印 (取組んでい きたい項目)	日中は利用者様に確認している。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	バリアフリーで十分な手すりの設置、入浴、トイ レでの安全を見守りや声かけでしている。	印 (取組んでい きたい項目)	進んで出来るような雰囲気つくる。
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	常に観察しわかる力を把握しその力を活かせる様 に配慮し自信をもてる工夫している。居室入口に 表札、トイレの目印も大きく書いている。	印 (取組んでい きたい項目)	生活作業は一人ひとりに合わせている。
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	ベランダを開放し、花や野菜を育てている。パー ベキューや花火をおこなっている。	印 (取組んでい きたい項目)	ベランダの植物を充実させ野菜などを収穫した い。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 す る 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

入居者様一人ひとりを大切にされたケアを行い、楽しみを増やせるよう積極的にアイデアを出している。少し遠方の外出やクリスマス会などの行事には家族をお誘いし交流を深めている。入居者様の笑顔が増えるよう心掛け、いかに認知症の進行を遅く出来るかを職員と共に考え取り組んでいる。